

姉妹都市関連記念行事のご紹介
(長野市及び浦安市)

2015年2月21日
在マイアミ総領事
長嶋伸治

今月初旬、日本とアメリカとの間で姉妹都市関係を結んでいる二つの都市がたまたま同日に記念行事を行い、小職がその一部行事に招待されました。その概要を以下にご紹介します。

1. 長野市・クリアウォーター市姉妹都市提携55周年記念行事（2月9日午前）



左：本官 右：加藤長野市長

両市による提携は1959年に始まり昨年55周年を迎えたことから、これを祝賀するとともに関係強化のために、加藤久雄長野市長一行31名をが8日から「ク」市を訪問し、一連の行事に参加されました。

両市間では、これまで市長同士の相互訪問に加え、民間レベルで中学生・高校生及び引率教師の相互訪問を中心とした交流がほぼ毎年のように行われて来ています。

8日は日曜日夕方にも拘らず、多数の「ク」市民が空港に長野市長一行を出迎え、また同日の歓迎会場にはクレテコス「ク」市長夫妻が加藤長野市長夫妻他を出迎えるなど厚い歓迎ぶりでした。また歓迎会ではこれまで相互にホームステイを提供した家族と世話になった同士が再会を喜び抱き合う姿も見られるなど、関係者間での絆の深まりを目の当たりにしました。

翌9日の公式歓迎式典では、「ク」市役所玄関ホールに飾られている善光寺の梵鐘のミニチュアを両市長が鳴らすとともに訪問団一行が地元関係者と記念撮影を行いました。次に「ク」市議会議場に会場を移して行事が行われ、米側連邦議員他来賓の出席の下、両市長からこれまでの交流実績を評価し、今後とも一層の関係発展を希望する趣旨の挨拶が行われました。また、今年は、「ク」市が市制100周年に当たることも紹介されました。その後訪問団員によるバイオリンの演奏が華を添えたあと記念品の交換などが行われ式典を終了しました。

2. 浦安市・オーランド市姉妹都市提携25周年記念行事（2月9日午後）



左：中村浦安副市長 右：本官

浦安市からは「オ」市との提携25周年記念行事出席のため、中村健副市長が団員22名とともに「オ」市を訪問しました。

両市間では、高校生の相互訪問に加え、マラソングループなどの市民団体間の交流も大変盛んです。

同式典ではダイヤー「オ」市長が25周年の意義を強調し、さらなる関係強化を期待する旨、また、中村副市長からもこれまでの交流の実績を紹介するなど姉妹都市関係を評価したことに加え、東日本大震災で液状化の被害にあった同市に対して「オ」市が義援金を募り、「オ」市長自ら浦安市長を訪ねて直接これを届けるという大変な厚意を頂いたとして深甚なる謝意が示されました。さらに「オ」市在留の日本人会からの義援金などにも触れ、「オ」市民に対しても深い感謝の意が表されました。

行事の最後に市長、副市長が両市の姉妹都市関係をさらに発展させるため新たな協定書に署名する式典が行われました。

続いて、地元の太鼓グループ「祭座」の青少年団員によるきびきびした太鼓の演奏が披露されて参加者から盛んな拍手を受けていました。最後にレセプションに移り、出席者間でしばし歓談が続いた後式典を終了しました。

3. 絆を深める姉妹都市交流

長野市は55周年、浦安市は25周年とそれぞれ大変長い間に渡りアメリカ側の相手と関係を維持、発展されて来られたことにまず敬意を表したいと思います。

両市とも現在では大きな部分を占める学生交流をホームステイなどで市民が積極的に支え、また、市民同士が文化やスポーツなどの分野で盛んに相互訪問などを行って来られたと聞きました。

節目節目には市長レベルの訪問を行い、普段は市民レベルが中心となって交流を支えるという形で官民がうまく相互補完しあって姉妹都市交流をここまで地道に続けて来られたと拝察しました。

両市の取り組みは姉妹都市提携を一過性に終わらせない上で貴重な成功事例を提供していると思います。

記念行事に参加した日本、アメリカ双方の関係者から交流を通して心が一つになったとのお話をいくつも聞きました。友好国、同盟国であるアメリカとの強い絆を培って来た姉妹都市交流の例として大変心強く思った次第です。



左：長野市長 右：クリアウォーター市長



左：オーランド市長 右：浦安副市長

(了)